

かつやま会議宣言

今、地球温暖化、エネルギーの確保、自然環境の荒廃、廃棄物対策など、私たちは様々な環境問題に直面しており、これらの課題をしっかりと受け止め、考え、行動していくことが求められています。私たちはこれまで、経済的な豊かさや便利さを追求するあまり、守るべきもの、なすべきことなど、多くの価値あるものを失ってきました。

今回、私たちは「恐竜の時代から 未来へつなぐ 豊かな自然と環境」をテーマに、太古からの息吹を感じる、豊かな自然に恵まれた勝山の地で、第20回という節目となる環境自治体会議に集いました。3日間にわたる交流を通じて、先人から受け継がれてきたありふれた自然や、生活の智慧、生産スタイルなど、当たり前になっているものの価値に気づき、再評価し、それを磨き、継承していくことの大切さを学びました。

これからは、人間も自然の一部であるという謙虚さを忘れず、常にグローバルな視点で事象を捉え、私たち一人ひとりが環境を意識した生活を実践し、それぞれの地域にふさわしいまちづくりを進めなければなりません。

私たちは、次世代を担う子どもたちに引き継ぐべき環境を守り続けることを確認し、次のとおり宣言します。

- 1 地域の自然環境を保全し、自然と共に生きる意識の醸成と社会づくりを進めます
- 2 資源、人、くらしの3つを結びつけ、循環型社会、省エネルギー・省資源を実現する持続可能な地域づくりを進めます
- 3 環境の取り組みを一過性のイベントに終わらせることなく、環境への配慮が日々の暮らしの中で無意識に実践できるような人づくりをめざした、持続可能な発展のための教育を、学校および生涯学習の場で進めます
- 4 環境自治体会議が20年間培ってきた地域間連携を強化し、目標を設定し、その達成のために、共に実績を積み上げる取り組みを進めます

平成24年5月27日

第20回環境自治体会議かつやま会議参加者一同